

「新世紀とやま文化振興計画」の見直しについて

1. 計画期間 平成24年度から33年度までの10年間
2. 現計画との主な変更点

	現計画 (H18~27)	改定計画 (H24~33)
基本目標と施策の方向性	<p style="text-align: center;">富山から世界に、人と文化の輝く「元気とやま」の創造</p> <p>【基本目標】</p> <p>①県民による幅広い文化の鑑賞、創造、交流、参加の拡大。特に子どもたちの文化との親しみの促進</p> <p>②質の高い文化の創造・発信による、県の文化のレベルアップと「とやまブランド」の確立</p> <p>③賑わいづくり、産業振興、観光など社会の各分野における文化と連携した総合的な文化振興施策の展開</p> <p>【施策の方向性】</p> <p>①文化活動への幅広い県民の参加</p> <p>②質の高い文化の創造と世界への発信</p> <p>③文化と他分野の連携</p>	
<p>⑨(1)文化振興の視点</p> <p>〔今後、10年間の文化振興施策の展開に必要な視点を提示〕</p>		<p>文化振興のための「3つの視点」を導入</p> <p>①「文化を創造・鑑賞・支援する人材の充実」</p> <p>②「環日本海・アジア新時代の到来などグローバル化への対応」</p> <p>③「ふるさとへの誇りや愛着の涵養」</p>
<p>⑨(2)県民参考指標の設定</p> <p>〔「県民参考指標」を設定及びPDCAサイクルによる計画の実効性の確保〕</p>		<p>基本目標を具体的にイメージする「県民参考指標」を設定</p> <p>①芸術文化に親しむ機会が充足されていると思う人の割合</p> <p>②県立文化ホールの利用率</p> <p>③文化に関する国際交流事業</p> <p>④地域文化に係るボランティア活動者数</p>
<p>⑨(3)前期5年間の重点施策</p> <p>〔時代潮流等を勘案し、計画期間の前期5年間に重点的に取り組む施策を明確化〕</p>		<p>「3つの視点」と陸・海・空の交流基盤の充実等の本県を取り巻く状況の変化を見据え、文化を活かした魅力創出に繋がる施策を選定</p> <p>①アジアをリードする文化交流拠点としての発展に向けた創造と発信</p> <p>②越中万葉以来の「ふるさと文学」の魅力の再認識及び、その継承・発展</p> <p>③文化を活かした富山ならではの魅力創出</p>
<p>⑨(4)長期構想</p> <p>〔計画期間よりもさらに長期的な展望に立ち、将来的には取組みが予測される、夢のある構想を提示〕</p>		<p>「文化の夢構想」の導入</p> <p>①世界をリードする芸術拠点の形成</p> <p>②とやま文化の世界展開</p> <p>③立山・黒部文化の発掘・発信</p>